

## 経営会議の内容

件 名	大和市地球温暖化対策実行計画（案）について
所 管 部	環境農政部
日時・場所	平成23年2月8日（火） 10:00～10:45 政策会議室
出 席 者	市長、副市長、教育長、病院長、市長室長、政策部長、総務部長、市民経済部長、環境農政部長、健康福祉部長、こども部長、文化スポーツ部長、街づくり計画部長、都市施設部長、病院事務局長、消防長、教育部長、環境総務課長、環境総務課主幹、総合政策課長、財政課長、総合政策課係長
提出理由	地球温暖化対策の推進に関する法律の改正に伴い策定する大和市地球温暖化対策実行計画を環境審議会に諮問したいため
会議経過	<p><b>【主な意見等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費の少ない移動手段の活用については、自転車利用も含まれるか。 （所管部）地球温暖化にも非常に有効な移動手段であり、本計画にも明記したい。</li> <li>・再生可能エネルギーの活用には、太陽光発電の他に、何が挙げられるのか。 （所管部）再生エネルギーには、太陽光や風力、バイオ燃料なども含まれる。</li> <li>・2017年の削減目標値が20%とあるが、2017年の推計値においても、25.8%とあり、すでに削減目標を達成している。目標値の見直しが必要ではないか。 （所管部）温室効果ガスの排出量の減少については、大規模工場の移転が大きな要因である。今後、企業の参入等により排出量が増加する要因は残っている。環境基本計画の中期目標値は変更せず、民生家庭部門の排出量削減に努めていきたい。</li> <li>・世帯数が、1990年の約1.3倍となっているが、民生家庭部門は13%の増加である。1世帯あたりの温室効果ガスの排出量はどのように変化しているか。また、どのように算出するのか。 （所管部）1世帯あたりの電気使用量については、1990年：276kwh/月であったものが、2008年：308kwh/月となり、約1割増加している。温室効果ガスの排出量については、電気以外のエネルギーであるガス、灯油などの使用量を含めて算出している。</li> <li>・市役所における削減対策として実施する事業の実施時期はいつか。 （所管部）自然観察センター省エネ改修工事：平成22年度未完了 市役所外構・北部浄化センター省エネ工事：平成23年度 市立病院・市役所ロビー省エネ改修工事：平成20～23年度 今年度は、自然観察センターに太陽光パネルの設置や、市立病院内の照明灯のLED化及び断熱フィルムの設置を行った。</li> <li>・今回の削減目標値は、マクロ的な数値を根拠としたものであり、各世帯から排出された温室効果ガスを測定したものではない。また、マクロ的な数値が根拠であるため、取り組んだ成果は検証・評価できるものなのか。 （所管部）1世帯あたりの電気等エネルギー使用量については、神奈川県全域等広域のデータを基に算出した数値しか把握できていない。今後、関係機関との調整を通じて、大和市域内のエネルギー使用量を算出できるようにしたい。策定後は、毎年度、具体的な削減等の具体的な数値を公表する予定であり、取り組みの成果についても、検証及び評価していく予定である。</li> </ul>
会議結果	案のとおり、進めていく。